

小城市立岩松小学校 学校だより 第40号	 <b>岩松小だより</b>	令和8年2月6日発行 発行者 校長 真子靖弘
-------------------------	---	---------------------------

**立腰（りつよう）ー学びの原点ー**

2/2(月)の全校集会では、「なぜ、立腰をするのか?」というテーマで話をしました。保護者の皆様は「立腰」という言葉をご存じでしょうか。佐賀県内でも全校を挙げて取り組む地域があり、本校でも授業開始時に「りつよう!」という号令が響く学級もあります。



**立腰教育**の提唱者である哲学者・森信三氏は、**腰を「身体と精神の要」と**位置づけました。単に背筋を伸ばす健康法ではなく、「**姿勢を正すことが、心の安定、学びの姿勢、そして生き方を変える**」という、**人間形成の根っこを育てる教育**です。

森氏は「立腰は言葉で教えるものではない」とも述べています(今回、校長講話として子どもたちに言葉で伝えていますが…)。これは、**私たち教師や大人が自ら静かに腰を立て、その姿を背中で見せることこそが、最高の手本(教材)である**という教えです。

現在、教育現場ではAIの活用やICT教育が急速に進んでいます。しかし、どれほどテクノロジーが進化しようとも、「人間が学ぶための身体」そのものは変わりません。私は、**立腰こそが本校で掲げている9つの非認知能力を支える土台であり、子どもたちのWell-being(幸福な人生)の出発点である**と考えています。

**<立腰による効果>**



- ・集中力を高める(学びの姿勢)
- ・感情をコントロールする(心の安定)
- ・自分を律する(生活態度の改善)

これらは、変化の激しいVUCA時代を生き抜くために欠かせない力です。

今後も学校では授業の始まりに、スッと背を伸ばす「静寂の時間」を大切にしていきます。ご家庭でも、食事中や学習機に向かう際、親子で「腰を立てる」ことを少しだけ意識してみませんか。

子どもたちが自ら心と体を整える力を育めるよう、まずは私たち大人が凛とした姿を示していきたい。そう願っています。

**【祝・全国1位】6年生の絆がクランプリに輝く!**

ターナー色彩株式会社主催の「みんなの絵画コンクール2025」において、本校から2つの作品が見事**入賞**を果たしました!

**■小学校の部【グランプリ】受賞(全国1位!)**

作品名:「**羽ばたけ頂点へ**」  
制作:6年生(白組)

この作品は、昨秋の運動会に向けて6年生白団で力を合わせて制作した巨大絵です。みんなの情熱が込められた作品が、全国の舞台で**最高の評価**をいただきました。受賞の一報を聞いた瞬間、子どもたちは大喜び!……そして、誰よりもガッツポーズを決め、喜びを爆発させていたのは、担任の古川先生だったかもしれません(笑)。



**■小学校の部【入選】**

作品名:「**百折不撓(ひやくせつふとう)**」  
制作:6年生(赤組)

こちらの作品も、困難に負けず何度も立ち上がる強い意志を感じさせる力作として、見事「入選」に選ばれました。

コンクールの公式結果発表ページにて、受賞作品を閲覧することができます。子供たちの努力の結晶を、ぜひご覧いただき、温かい拍手を送っていただければ幸いです。



**【結果発表ページはこちら】**

<https://turner.co.jp/award/event/index.html>

**あの感動を、もう一度テレビで!**

11/7(金)に開催したナチュラルダンスステアトルによる「ねむり姫」公演の様子が、**はがくれテレビで放映**されます。ぜひ、

2/11(水)10:00~、16:00~
2/18(水)13:00~、20:00~

ご視聴ください。